

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

溶連菌感染症が流行中です！！



溶連菌感染症(A群溶血性連鎖球菌咽頭炎)ってどんな病気？

A群溶結性連鎖球菌の感染によって起こる化膿性疾患です。学童期のこどもののどや扁桃に感染し、咽頭炎や扁桃炎を起こします。

症状は？どうやってうつるの？

主な症状はのどの痛み、発熱ですがかゆみのある発疹を伴うこともあります。のどは真っ赤に腫れます。接触経路は飛沫および接触感染であり、家族内やクラスで流行しやすいです。予防には手洗いとうがいがあります。

治療方法は？

抗生剤の内服を1週間から10日間続けます。ペニシリン系が第1選択ですが、ペニシリンアレルギー患者にはセフェム系も効果があります。治療開始後速やかに解熱し、のどの痛みも和らぎますが、治療を中断すると再燃しやすいため、最後まで飲み切ることが重要です。

気を付けなければならない症状は？

溶連菌感染症後には様々な合併症が見られます。最も多いのは急性糸球体腎炎で、尿が出なくなり浮腫みが見られます。また血圧が上がるために激しい頭痛を訴えることがあります。溶連菌感染後3~4週間目に発症することが多く、この時期は要注意です。

また、IgA血管炎という紫斑や腹痛、関節痛を症状とする疾患も溶連菌感染後に見られることがあります。

※かかったあとに注意が必要な感染症です。気になることがあれば医療機関を受診しましょう。



食中毒に気をつける季節です 食中毒になってしまったら？

病院に行くタイミングは？

おうとや下痢で元気がない、ぐったりする。いちごジャムのような血便がでる。おしっこが出なくなる、などの症状があれば救急受診が必要です。

薬は？

下痢止めは、菌やウイルスが身体から排泄されるのを遅らせ、毒素が増えるため通常は使用しません。消化を助けるための整腸剤は補助的に使います。細菌性腸炎の場合は、適切な抗生剤を使用します。

人から人へうつりますか？

感染経路は糞口（ふんこう）感染と言い、便中の菌やウイルスが、手を介してまわりの人の口に入って感染します。手洗いや、包丁・まな板などの調理器具の消毒が重要です。おうと物や便のすみやかな除去が感染の広がりを防ぎます。

学校・園へ行けるようになるのは？

細菌性腸炎の場合は菌が便から出なくなるのを確認してからになります。ウイルスの場合は胃腸症状が改善してから登園しましょう。

当院の流行状況

マイコプラズマ感染症の検出数が増加しているようです。長期間咳が続いている患者様は可能性があります。

アデノウイルスが検出されています。咽頭結膜熱（プール熱）のことです。

梅雨の時期でもあり食中毒に注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（一般に溶連菌感染症と呼ばれているものです）が検出されています。





6月6日に病棟行事“あじさいまつり”を行いました！！



カレンダーやあじさいメダル、紙皿を使ったカタツムリを作りました。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。